

(別添資料)
浜松市デジタル・スマートシティ構想
重点分野ごとの総括

重点取組分野 ①浜松の強みを唯一無二のものに

- ウェルネス**
- 「予防・健幸都市浜松」実現に向けた官民連携
 - 健康情報を活用した生活習慣病等の予防・改善
 - 介護ロボット等の活用による介護従事者の負担軽減
 - AI等を活用した健診（検診）の受診率向上

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の行動変容に向け、ウェルネス推進協議会や浜松ウェルネス・ラボとの連携による各種健康増進の取組を実施 ● ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」の運用を開始、歩数記録を活用したキャンペーンや複数部局が連携したアプリ活用による健康イベントの実施等により、市民の健康増進活動を促進 ● LINE、AI等デジタルを活用したがん検診や特定検診の受診勧奨 	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業や大学等との一層の連携強化 ● 若い世代に多い健康無関心層の行動変容に向け、更なる工夫が必要

重点取組分野 ①浜松の強みを唯一無二のものに

産業

(ものづくり・農林業)

- 国土縮図型都市・浜松のフィールドを活用した新たなサービスやソリューションの創出
- サテライトオフィス等を活用したベンチャー企業等の誘致
- 先端技術を活用するスマート農林業の推進
- 中小企業の生産性向上に向けたIT・IoT等の活用

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 実証実験サポート事業やORI-Project等により、浜松をフィールドとした新たな取組を支援 ● 市内にスタートアップ等が利用できるオフィスを整備 ● スマート農業の普及に向け「浜松スマート農業推進協議会」における意見集約やスマート農機の導入補助事業等を実施 ● 林道情報のデジタル化により災害対応を迅速化 ● 中小企業の生産性向上に向けロボット・IoT導入やDXを支援する相談窓口「スマートものづくり支援デスク」を設置するとともに、システム導入費用に対する補助事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国的にスタートアップ支援の取組が増え、特色を出す必要性が高まっている ● 支援が必要な企業の掘り起し ● スマート農林業の更なる普及に向けた共有・発信すべき情報の整理 ● 未舗装林道等、データ取得が困難なものに対するアプローチ

重点取組分野 ①浜松の強みを唯一無二のものに

音楽文化・ エンターテインメント

- デジタル技術を活用した文化事業の実施
- ニューノーマル時代のエンターテインメントの新たな楽しみ方の創出と普及
- インターネットを活用した音楽文化等の発信とリモートによる国際交流の推進

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 浜松国際ピアノコンクール関連イベント等をデュアルモードで開催 ● 音を通して世界をつなぐことを目指したWebコンテンツ「Global Sequencer」を2021年11月公開 ● バーチャル浜松市楽器博物館を2021年5月公開 ● eスポーツ普及のためイベントに対する広報支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントのデュアルモード開催やデジタル化に係るコストに対し効果検証が困難 ● スポーツ競技としてのeスポーツ認知向上に向けた更なる周知啓発

重点取組分野 ①浜松の強みを唯一無二のものに

観光・商業

- デジタル・マーケティングの活用による情報発信
- 新しい生活様式に即した観光の活性化と賑わいの創出
- 関係人口の拡大や多拠点居住の促進
- デジタル活用による移住・定住・交流の促進
- キャッシュレスの推進
- デジタルを活用したインセンティブ（報償・奨励）付与による誘客や消費活性化の研究

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 浜松市デジタル・マーケティング戦略を策定し、事業相談や研修等の庁内浸透に向けた事業を実施 ● メタバースブースへの出展やユーチューバー等の活用等により本市の魅力を発信 ● 移住希望者にオンライン相談を実施し、好評を得た ● 浜松科学館や博物館、協働センターなど、市の80施設においてキャッシュレス決済を導入 ● 「はままつ安全・安心な飲食店認証制度」認証店舗利用者へのキャッシュバック等のキャンペーンを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業目的に対するデジタル施策の位置付けや効果等を見極める能力の向上 ● 対象と目的に応じたデジタルとアナログの配分最適化 ● 暮らしやすさや分厚い産業といった、観光分野以外の魅力発信

重点取組分野 ②浜松らしいニューノーマル社会の実現を目指して

- リモートワーク
・他拠点居住**
- 関係人口の拡大や他拠点居住の促進【再掲】
 - デジタル活用による移住・定住・交流の促進【再掲】
 - リモートワークやテレワークの推進
 - 副業・兼業人材の活用促進

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 東京圏の企業人材が地域課題解決等の提案を行う「逆参勤交代」を試験実施 ● 市職員のテレワーク環境整備 ● ワークेशन環境整備を行う宿泊施設や利用者に対し助成金を交付 ● 浜松テレワークパーク構想に係る実証として、官民連携によりテレワークカーを導入・運用 ※コロナ禍の終息とともに事業終了 ● 民間専門人材を活用し、特定事業のブラッシュアップや戦略の検討を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係人口の拡大に向けた適切な制度設計等更なるアプローチ ● テレワークの浸透にあたり、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた啓発及び制度設計・環境整備 ● 兼業・副業人材の活用に前向きな県内企業は14.7%（帝国データバンク調べ）と慎重傾向であり、社会全体での具体的な好事例の共有が必要

重点取組分野 ②浜松らしいニューノーマル社会の実現を目指して

- 見守り・災害対応**
- IoTを活用した高齢者や子どもの見守り推進
 - 災害予測や災害状況の効果的な把握
 - 災害関連情報の効果的な提供
 - 避難所の効果的な3密対策

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 市立小中学校等の連絡アプリ「さくら連絡網」を活用した緊急時等の保護者連絡や児童生徒の欠席連絡を含めた校内での情報連携 ● 高齢者のみの世帯に対する緊急通報システムの貸与 ● 地区自治会連合会の防犯カメラ整備を補助金等により促進 ● 気象庁との情報共有やSNSの情報集約システム活用による災害早期予測・対応 ● ドローンを活用した災害状況の早期把握 ● LINEによる通報システムにより、道路等の不具合箇所の早期把握を実現 ● 市が管理する水位計等の防災情報をオープンデータ化 	<ul style="list-style-type: none"> ● スマホ未所持者や多言語への対応 ● 補助金の利用率向上に向けた制度周知や申請手続きの簡素化の検討 ● アクセス集中による鈍化などシステムが正常作動しないことがある ● 災害時に迅速な対応ができるよう、様々な状況を想定した訓練が必要

重点取組分野 ②浜松らしいニューノーマル社会の実現を目指して

- 教育・子育て**
- GIGAスクール構想の実現に向けた教育環境整備
 - オフライン授業とオンライン授業のハイブリッドによる持続可能な教育の推進
 - ICT等を活用した子どもや子育て世代への効果的な情報提供や相談体制の構築

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒1人1台のタブレット型端末整備や全小中学校へのインターネット回線整備を実現 ● 教員のICT活用指導力向上に向け、教育の情報化推進リーダーの配置や研修を充実 ● 交流学习や合同授業に際し遠隔システムを活用 ● オープンデータを活用し子育て情報ポータルサイトやチャットボットを運用 ● SNSを活用した「わかものライン相談」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員のICT活用指導力や教職員の情報セキュリティに関する知識・意識の更なる向上 ● 児童生徒に対する情報モラル教育の更なる充実

重点取組分野 ②浜松らしいニューノーマル社会の実現を目指して



デジタル・ガバメント

- 書面規制・押印・対面規制等の見直し
- 行政手続きのオンライン化やキャッシュレスの推進
- マイナンバーカード取得促進とマイナンバーカードを活用した行政サービスの拡充
- 多様な伝達手段による情報の提供
- AIやICT等の活用による生産性の向上
- DX推進に向けた職員の人材育成

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 「書面規制、押印等見直し指針」を改訂 ● 2024年度のオンライン化率86%達成を目標に行政手続きのオンライン化を推進 ● 協働センター等、市の80窓口に窓口キャッシュレスを導入 ● マイナンバーカードの取得を促進 ※申請率：2023年3月末現在 80.22% ● マイナンバーカードを用いたコンビニでの住民票の写し等交付や図書館利用者カードへの活用を実現 ● オープンデータを活用した子育て情報サイト「ぴっぴ」等の情報提供を展開 ● AI議事録や生成AIサービスを導入し全庁で活用 ● 書かないワンストップ窓口システムの導入 ● DX支援者（メンター）制度や「LGX行動規範」等を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 書面規制や押印等には、上位法令や国の運用等の制約で見直しできないものがある ● キャッシュレス利用率の低い地域におけるレジの継続・廃止判断 ● マイナンバーカードの民間や官民連携における利活用の促進 ● AIの急速な進歩に合わせた利用ガイドラインの更新や利用者のスキルアップ ● DX支援者が活躍できる場の創出とともに、将来的な役割、人数等の見直しを持つ必要

重点取組分野 ③デジタルの力で持続的・包摂的社会を構築

- モビリティ**
- モビリティとサービスの連携による持続可能なまちづくりの推進
 - モビリティサービス推進コンソーシアムを中核とした官民連携によるプロジェクトの創出
 - 医療MaaSの推進
 - フードデリバリープラットフォームの推進
 - テレワークパーク構想の推進【再掲】

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● モビリティサービス推進コンソーシアム会員や関係課によるアイデアソン等により、新たなサービス創出を検討 ● 庄内地域における共助型地域交通を導入 ● 中山間地域でオンライン診療を実装 ● 民間企業3社と市による「浜松自動運転やらまいかプロジェクト」において自動運転の実証実験を実施 ● ルートやダイヤ設定にICTを活用した地域バス運行 ● 食事宅配プラットフォーム「Foodelix」の周知・利用促進 ※コロナ臨時交付金活用事業のため終了 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域バス等現存サービスの維持に向けた一層の利用促進 ● 自動運転レベル4の運行に向けた技術や住民の寛容性の向上 ● モビリティサービス推進コンソーシアム会員同士の連携による取組実施促進 ● 通院支援などオンライン診療だけでは解決しない課題への対応

重点取組分野 ③デジタルの力で持続的・包摂的社会を構築

- 社会参加促進**
- AIやICT等の活用による障壁の除去
 - バリアフリー情報等のオープンデータ化の促進
 - 情報へのアクセシビリティの向上
 - ICT技術やSNS等を活用した市民参加の促進
 - シニア向けスマートフォン講座等の充実

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 合意形成プラットフォーム「Decidim」の運用を開始 ● 市公式Webサイト作成に際してのオープンデータ化促進とアクセシビリティルールの徹底 ● 過疎地域においてデジタル技術相談人材を育成 ● 各協働センターにおいてスマホ等デジタル関連講座を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● AIやICT等を活用した新しいサービスが利用者の生活に溶け込む工夫 ● 育成したデジタル相談人材の活用促進 ● デジタル関連講座の講師確保

重点取組分野 ③デジタルの力で持続的・包摂的社会を構築

- インフラ**
- ドローンやセンサー等の活用によるインフラの老朽化対策
 - 点群データなどインフラ情報のデジタル化
 - 都市のデジタル化推進におけるインフラの利活用や高度化の検討

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 浜松城天守閣改修や道路・水道橋点検などにドローンを使用 ● 水道メーター接触型センサーによる漏水調査を実施 ● 道路斜面の落石対策や防災点検、文化財復元用資料などに3D点群データを活用 ● 人工衛星写真のAI解析による漏水可能性区域の把握 ● 下水処理場における作業や情報伝達効率化に向けたスマートグラス活用実証 ● クラウド化した遠方監視システムにより施設稼働状況把握と緊急対応を迅速化 	<ul style="list-style-type: none"> ● ドローン運航にかかる安全領域の確保や精度検証 ● 3D点群データの作成費用が高額で頻繁なデータ更新が難しい ● 地下空間等電波状況の悪い空間における通信環境の改善 ● システムオペレーターの育成や停電等異常時の対応

重点取組分野 ③デジタルの力で持続的・包摂的社会を構築

- エネルギー・循環型社会**
- 「浜松市域“RE100”」の実現に向けた推進
 - スマートコミュニティ、スマートタウンのモデルの構築
 - スマートプロジェクトの実現
 - 新清掃工場及び新破碎処理センターをモデルとしたサーキュラーエコノミーの推進

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電の導入推進により太陽光発電導入量日本一を達成 ● 市遊休地を活用した「浜北区役所跡地等スマート化事業」、JT工場跡地における「浜松版スマートタウン開発支援事業」、公共施設でのマイクログリッド構築（浜松グリッド8）等様々なモデルプロジェクトを実施 ● 浜松市スマートシティ推進協議会（現：浜松市カーボンニュートラル推進協議会）において「マイクログリッド事業」を実施 ● 新清掃工場の余熱等を利用した付加価値事業の事業者を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電以外の電源種の導入が進んでいない ● 大企業のみならず、中小企業への支援などを通じてカーボンニュートラル活動の裾野を広げていくことが必要

重点取組分野 ④共創の基盤を構築し、より強固なものに

- 官民共創による推進体制の強化**
- 浜松市フェロー等外部人材の活用
 - 官民共創によるプロジェクト創出に向けたアイデアソン等の開催
 - 次代を担う若者世代の巻き込み
 - 官民連携プラットフォームを活用した分野間の連携促進
 - シビックテックとの連携や共創

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル・スマートシティ推進の基盤となる条例、構想、DX推進計画を策定・制定 ● 官民連携プラットフォーム会員が拡大し多様な主体が参画、ソリューションピッチにより会員間や市との連携を強化 ● プラットフォーム運営委員会やウェビナー等により各分野の取組の現状と課題を共有 ● 静岡大学・静岡県との共催により「3D点群データの利活用」をテーマとしたアイデアソン・データソンを開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 官民連携プラットフォームと各分野の推進母体のさらなる連携 ● 有益と判断された試験的取組の社会実装に向けた支援の強化 ● 地域課題解決や地域の活性化等にどのようなインパクトを与えているかの評価

重点取組分野 ④共創の基盤を構築し、より強固なものに

人材育成

- 次代を担う若者の育成
- データ利活用に関するセミナーやハッカソン等の開催
- シニア向けスマートフォン講座等の充実【再掲】
- 人材育成におけるリモートやオンラインセミナー等の活用
- 人材育成における大学やCode for Japan等との連携

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の学校等を対象に、地域で活躍している起業家や官民連携プラットフォーム会員による講演を開催 ● 静岡大学・静岡県との共催によるオープンデータ活用をテーマとしたアイデアソン・データソンを開催 ● ORI-projectの一環としてデータ連携基盤を活用したサービス開発に向けたハッカソンを開催 ● 各協働センターにおいてスマホ等デジタル関連講座を開催 ● オンライン職員研修の実施 ● Code for JapanやAWSとの連携協定に基づき地域活性化イベントを開催 ● シビックテック普及啓発イベントとしたセミナーやワークショップの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育・研究機関等との連携を通じた若者世代の更なる巻き込み ● 普及啓発イベントを単発で終わらせないための工夫 ● デジタル関連講座の講師確保

重点取組分野 ④共創の基盤を構築し、より強固なものに

- データ連携基盤の整備やオープンデータの拡充**
- データ流通のハブ（中継地）となるデータ連携基盤と利活用
 - データ連携基盤の活用事例の創出（ORI-Projectの推進）
 - オープンデータプラットフォーム（ODPF）の整備と利活用
 - 点群データのオープンデータ化と利活用促進

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 2023年度にデータ連携基盤を整備し、データ連携基盤の活用における実証から実装への一気通貫の仕組みづくりを確立 ● 2021年度からODPFの運用を開始、オープンデータ活用によるチャットボットやSNSを活用したお知らせ配信等を実施 ● 市内各所の3D点群データをオープンデータとして公開 ● 静岡大学・静岡県との共催により「3D点群データの利活用」をテーマとしたアイデアソン・データソンを開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一層多様な行政情報のオープンデータ化 ● 民間や官民連携組織におけるデータ利活用の促進 ● 3D点群データの作成費用が高額で頻繁なデータ更新が難しい

重点取組分野 ④共創の基盤を構築し、より強固なものに

通信基盤等の整備 や利活用促進

- 中山間地域等への光ファイバ網の整備支援
- 5Gアンテナ基地局の設置や利活用の促進
- 各種通信（高速・低速等）活用の事例の共有と横展開
- 活用事例の創出やニーズ喚起による各種通信インフラ整備の働きかけ

これまでの取組や成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 北区・天竜区の一部へ光ファイバ網整備 ● 国や通信事業者に対し光ファイバ網整備促進を要望、地域協議会への参画が決定 ● 協働センター等への公衆無線LAN整備 ● 林業事業者の安全確保や労働生産性の向上を目的とした通信インフラ（LPWA）を龍山町に整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 光ファイバ未整備地域や携帯電話不感地域が残る ● LPWA通信の安定稼働と通信エリアの検証